

事務事業名	南アルプス市体育協会支援事業		所属部局	教育委員会		単位番号	12342								
			所属課室	生涯学習課		課長名	新津 岳								
	☐ 実施計画事業		所属担当	社会体育		担当者名	今村繁樹								
基本政策	基本計画体系	個性と文化を育む都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目					
政 策		26	スポーツ・レクリエーションの振興	01	一般	1	0	5	0	1	0	2	0	0	5
施策		40	スポーツ・レクリエーション活動の推進	事業区分	☐ 国の制度による義務的事業 ☐ 施設等維持管理事業 ☐ 県の制度による義務的事業 ☒ 補助金交付事業 ☐ 市の制度による義務的事業 ☐ その他の事業 ☐ 義務化されている協議会等の負担金										
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 15 年度)		法令根拠	財団法人南アルプス市体育協会補助金交付要綱											
			☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)												
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載			事業費の主な内訳 (22年度)											
	(財)南アルプス市体育協会は、6つの地区体育協会とその下部組織の支部、また、各競技団体、スポーツ少年団本部等からなり、市内における生涯スポーツの健全な普及発展と、スポーツ文化の向上を目的に平成18年2月に設立され、市体育事業の実施、及び櫛形総合公園、櫛形総合体育館、若草スポーツ公園などスポーツ施設等の管理、貸出し業務、南アルプス桃源郷マラソン大会などのスポーツ大会を開催し、市内のスポーツ振興に寄与することを目的としており、事業遂行のため補助金(事業、運営、人件費)を交付する。			項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円)											
				事業費補助金 16,744											
				運営費補助金 5,544											
				人件費補助金 53,506											
			計 75,794												

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

活動	
22年度活動実績	補助金(事業、運営、人件費)の交付
23年度活動予定	補助金(事業、運営、人件費)の交付
対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	
南アルプス市体育協会	
意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていのか、どのように変えるのか)	
体育協会の運営が健全になり、事業が活発に行える	
上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
スポーツにより市民の健康増進と市の活性化を図る。	

活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 体育協会補助数	件
イ	
ウ	
対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 体育協会加盟団体数	団体
イ 体育協会職員数	人
ウ	
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 体育協会主催事業数	件
イ	
ウ	
上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 週1回以上運動している人の割合	%
イ	

(2) 事業費・指標の推移				単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円							
			一般財源	千円	75,656	75,794	81,034	82,608	79,380	77,790	76,230
	事業費計 (A)			千円	75,656	75,794	81,034	82,608	79,380	77,790	76,230
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	3	3	3	3		
		延べ業務時間	時間	100	100	100	100	100			
		人件費計 (B)	千円	446	446	396	396	396	0	0	
		(A) + (B)			千円	76,102	76,240	81,430	83,004	79,776	77,790
活動指標		アイウ	件	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0		
		アイウ	団体	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0		
対象指標		アイウ	人	10.0	10.0	10.0					
		アイウ	件	8.0	8.0	8.0	8.0	10.0	10.0		
成果指標		アイウ	件	8.0	8.0	8.0	8.0	10.0	10.0		
		アイ	%	35.0	35.0	35.0	35.0	38.0	38.0		

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか？	平成18年に6つの地区体育協会、各競技団体及びスポーツ少年団本部等が加盟団体となり、市内における生涯スポーツの健全な普及発展と、スポーツ文化の向上を目的に設立された。
事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか？また、今後の予測は？	補助金の交付が事業となっているため、厳しい財政状況の中で、各種補助金が見直されるなか補助額が課題となっている。
事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか？	事業費、人件費を補助金で賄っており、補助金の削減イコール事業の圧縮となってしまう恐れがある。

(4) 改革改善の取り組み状況

改革改善の取り組み実施は？	☒ 取り組みしている。【内容！】 ☐ 取り組みしていない。【理由！】
これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	指定管理者として管理業務の取り組み
H 22年度に実施した改革改善の内容	事業費補助金の削減

事務事業名	南アルプス市体育協会支援事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	----------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) 【理由↓】 ☒ 結びついている 【理由↓】 市民スポーツの活性化、市民の健康増進を図っている。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある 【理由↓】 ☒ 妥当である 【理由↓】 将来的には、民間やNPOに委ねていく方向とは思いますが、協会には正職員が採用されており、移行には時間が必要と思う。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある 【理由↓】 ☒ 適切である 【理由↓】 市民→市体育協会→県体育協会→日本体育協会	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
有効性 評価	成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☒ 向上余地がある 【理由↓】 ☐ 向上余地がない 【理由↓】 将来、生涯学習課や体育指導委員会で行っている事務事業を体育協会へ移管できないか検討していく。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある (類似する事務事業の名称を記入↓) ☐ 統合・連携ができる 【理由と具体案↓】 ☐ 統合・連携ができない 【理由↓】 ☒ 類似事務事業がない	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり 【理由と影響の内容↓】 市民スポーツの活性化	☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない 【理由↓】 体育協会の運営が成り立たない
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある 【理由・具体案↓】 ☒ 削減余地がない 【理由↓】 実施事業の振り返りを行う中で、事業の精査や実施事業のコスト削減に努めている。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある 【理由・具体案↓】 ☒ 削減余地がない 【理由↓】 事業費、運営費、人件費補助に分け精査している	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
公平性 評価	受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある 【理由・具体案↓】 ☒ 公平・公正である 【理由↓】 体育協会は、市民を対象として事業運営している	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	移譲できる事業精査を行うが体育指導委員会との調整が必要である。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
☐ 廃止(目的妥当性 、 、 の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性 の結果) ☐ 公平性改善(公平性 の結果) ☐ 休止(目的妥当性 、 、 の結果) ☒ 成果向上(有効性 の結果) ☐ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性 、 、 の結果) ☐ コスト削減(効率性 、 の結果)	<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr> <tr> <th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☒</td><td>☐</td></tr> <tr> <th>維持</th><td>☐</td><td>☐</td><td></td></tr> <tr> <th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr> </table> 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☒	☐	維持	☐	☐		低下	☐		
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	☐	☒	☐																		
	維持	☐	☐																			
	低下	☐																				
(2) 改革改善案について 事業精査																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 体育指導委員意識改革 体育協会の受け入れ態勢	(5) 事務事業優先度評価結果 <table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td><td></td></tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td><td></td></tr> </table>	成果優先度評価結果		コスト削減優先度評価結果																		
成果優先度評価結果																						
コスト削減優先度評価結果																						